

令和5年度愛西市子どもの心の健康づくり事業計画（案）について

- 1 「排便と睡眠を軸にした生活時間割づくり」の動画配信
 - 【目的】 一人ひとりかけがえのない存在であることを実感し、子どもに健全な心が育まれる
 - 【対象】 保育関係者、幼児の保護者
 - 【実施内容】 保育関係者には、動画DVDの配付、配信URLを送付
幼児の保護者には、保育園・幼稚園等を通じて動画配信案内チラシを配布。視聴後アンケートを実施。

- 2 小学4年生「十歳の集い」の実施
 - 【目的】 思春期に向かう10歳という時期に、これまでの自分の成長を振り返り、自身を支えてくれた人たちの存在に気づくことで自己肯定感を高める。
 - 【対象】 市内の12小学校（愛西市全小学校）の4年生
 - 【実施内容】 式典にこだわることなく、授業内での経験を推奨。
これまでの成長過程を振り返るなど、「自分がかげがいのない存在であり、周囲から慈しまれてきた自分」を実感することで自己肯定感を育む取り組みを各学校で検討し、実施。

- 3 中学2年生「いのちの授業」の実施
 - 【目的】 赤ちゃんと保護者とのふれあいを通して、命の尊さについて学ぶ機会とし、継続した関係づくりを実現させることで、中学生自身が子どもの成長を学び、将来の親としての自分をイメージできるようになる。また、協力者である親自身も中学生との継続的なかかわりや、地域の関係者との出会いを通して孤立を防止し、育児不安の軽減を図る機会とする。
 - 【対象】 市内の6中学校（愛西市全中学校）の2年生
 - 【実施内容】 各学校で作成された指導案をもとに、保健センターと打合せを行い実施。